

NPO 法人「三郷サンサンハウス」ニュースNo.22

大型台風が日本列島に大きな爪痕を残し過ぎ去りました。皆様にも大小の被害・影響があったことでしょう。10月3日にはあづまやで建設にご苦労頂いた方、実行委員の方、またご近所の方々と一緒に月見の宴をひらきました。

さて、今回はうれしいニュースがあります。平成17年から始めている「サンサンサロン」の活動実績が認められ、21年10月から三郷町の助成を頂くことになりました。

介護保険事業ではない「サンサンサロン」は、介護予防を目的とし、地域の高齢者が集まって自分たちの知恵を出し合い、手作り品の作成、子どもたちとの交流、文化祭への出展、バザーに出店、おしゃべりや時にはおいしいものを食べに出来たり等の楽しみを織り交ぜて、交流していただく場になっています。ここを支えている職員やボランティアさん、そして何より参加していただく高齢者の皆様の熱意と優しさでますます発展させ、一人でも多くの高齢者の方に喜んでいただくことが私たちの責務と感じています。

理事長 上野登志子

ヘルパーステーション

TEL 32-3535

すっかり秋らしくなり、高い空にくっきりと飛行機雲が描かれて、ふと立ち止まって見上げると、何ともいえないすがすがしい気持ちになります。

「おはようございます！」と入らせていただくと「よう来てくれはったなあ、靴下、はかせてほしいんや。」と困った様子。

靴下をはいていただくと「助かったわ、これができないくて困ってたんや」と笑顔で言ってくださいます。食事作りや買い物、掃除、入浴の介助など生活の中でご本人ができない事を支援するために訪問しますが、じゃが芋と玉葱を炒めてかつお節と醤油で味をつけるだけで、とってもおいしいおかずになること、ぬらした新聞で窓を拭くとぴかぴかになること、風呂の残り湯を無駄にしない掃除法から、お姑さんとうまくやっていくコツまで、勉強させていただくことがいっぱいです。ヘルパーが来ることを楽しみにしてくださっている方も多くおられて「よう来てくれはったなあ」と迎えてくださる笑顔に、いつも元気をもらっています。

これからだんだん寒くなりますが、ヘルパーはいつも温かい気持ちをもってお伺いしたいと思います。

NPO 法人
「三郷サンサンハウス」
三郷町三室2丁目5-22
Tel/0745-32-3535
Fax/0745-32-3519
理事長 上野登志子
2009.10.25

秋の短歌

仲秋の空にささぎる流れ雲
秋たけてひねもす唄う虫の声
テレビに映る満月を見て
白粉の花むせぶ小庭に



一人暮らしのYさんは短期記憶障害がありますが、どなたに対しても気遣いがありとても優しいお人柄です。毎日ヘルパーさんから掃除、買い物、調理、洗濯などの生活援助を受けながら週4回は認知症対応型デイサービスに通っておられます。成年後見人になっておられる甥ご夫婦が毎月 奈良市内から訪問してくださり、カンファレンスをしております。これからもYさんが、一日でも長く“住み慣れた大切な家”で安心して生活してもらえるようにYさんに関わる人々の協力を得ながら支援させて頂きたいと思っております。ここに甥さんの奥様からのお便りをご紹介します。

中川香代子



《感謝》

三郷サンサンハウスのケアマネの中川さんをはじめ、訪問ヘルパーの皆さん、デイサービスのスタッフの皆さんにはいつも大変お世話になっております。

心より感謝申し上げます。

利用させていただいているのは、私の主人の伯母（86歳）ですが、独身で子供がいない為、甥である主人が成年後見人になりました。とは言え、私達家族は奈良市に住んでおり、日々の生活は三郷サンサンハウスの皆さんに支えていただいております。6年前に認知症の症状が認められた時、グループホームに入つてもらう事も考えましたが、伯母は自分の家から離れる事を強く拒み自宅で生活できる様にと三郷サンサンハウスの皆さんに、ケアマネさんもヘルパーさんも一緒になって考えて下さいました。今は、毎日朝、夕の2回ヘルパーさんに入っていただき、週4回、デイサービスを利用させていただいている。

この6年間、認知症の症状も少しづつ進み、精神的に不安定な時や、いろんな事がありました。脳梗塞を起こした時も、圧迫骨折をした時もヘルパーさんがすばやく対処して下さったおかげで軽くすみました。一時は、一人では歩けなくなるのでは……と思っていましたが、今はゆっくりですが一人で歩けています。本当に伯母の事を自分の家族のように親身にお世話して下さいます。

主人と良く話しているのですが、もし、この介護制度がなかったらどうなっているんだろうと・・。本当にありがたいなあと思います。

伯母も、ヘルパーさん達が毎日来て下さるので安心していることでしょう。

優しい人達にお世話していただき、幸せだと思います。今後共、よろしくお願ひ申し上げます。

(M,Y)



小規模多機能ホーム 萌の里

TEL33-3555

助成金事業の2本柱のひとつ、東屋がこの夏完成いたしました。名称は地域の皆さんが“集まる家”になるように願いを込めて「あづまや」と決まりました。現在、以前より販売しておりました、ちいしば園・ドンキーのパンは、木曜日の10時ごろから夕方（売り切れまで）に販売いたしております。



また、9月21日より毎週月曜日10時ごろから13時ごろまで産直の新鮮で安心のお野菜やお豆腐・牛乳などを香芝から“旬の里”さんが販売しに来て下さっており、大変ご好評をいただいております。いろいろな障害を持っていてもやれることがある、役割があるという意識で活動の場所を探しておられる事業所さんがあります。一方で、家から出掛ける機会の減っている方たちがいます。地域で世代を超えて声を掛け合う



機会も減っています。「あづまや」を活躍の場所として、地域交流の場所として活用していただければと思います。萌の里のご利用者さんも萌の里に来られている間は地域の住人です。その交流の輪に入らせて頂き、生き活きとした表情で過ごして頂けたらと思います。

「あづまや」では、購入など関係なく、いつでも一息つきつけるように準備しております。タダでは心苦しいとの

声があがっておりるので、募金箱を設置させてもらっております。

ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、「あづまや」は、猛暑と雨が交互する悪天候のなか豊永行男氏の並々ならぬご尽力により完成いたしました。心よりお礼申し上げます。

また、要所要所にご協力を頂きましたみなさまにも心より感謝いたします。

本当にありがとうございました。

藤 みわこ

そろそろ秋も深まって参りました。萌の里では10月24日、25日の文化祭に向けて利用者さんは作品作りに励んでおられます。Oさん、Mさん、Fさんの3人は刺し子でクッション作り「この色ここにしたらどう？」とお互いに教えあいながら楽しく針を運んでいます。

Mさんにいたっては、子どものように口を尖らして、我々スタッフの声かけに「できませんわあ、よろしいわ」と仰ってましたが、いざ筆を持つと、すっと素晴らしいお地蔵さんを描かれました。またIさんもボンボン作りの糸巻きの際、スタッフと一緒に

一緒に声を合わせ1, 2, 3, 4、…と100回笑いながら数えて下さいます。夕方になり「今日は楽しかったわ」とニッコリ笑って下さる利用者さんの素敵な笑顔を見ると明日も頑張ろうと思える力がわいて来ます。4月より萌の里のスタッフの一員として利用者さんに関わって参りました。特養やグループホームでの経験を生かし、じっくり一人ひとりと向かい合い、利用者さん、そして私も笑顔でいられる様なケアを目指して頑張りたいと思います。

介護士 赤波江 早苗

サンサンサロン



興味を持たれ特に今月は健康まつり（バザー）に積極的に取り組み素晴らしい作品を提出されました。

午後にはやさしい体操と美味しいお茶とお菓子を頂いて一日が終わります。

利用者の方の心からの笑顔が素敵なサンサンサロンです。

前田ヒロミ

TEL 50-7970

サロンの庭に無花果、柿の実が色づいてきました。ポーチュランカの赤白、ピンク、色とりどりの花びらが可愛く咲いています。「おはようございまーす」利用者の方の元気な笑顔で一日が始まります。みんなのパワーを感じながら、世界中のニュース？身近な出来事など話題もつくる事なく、読書されたり、小物を縫ったりそれぞれのスタイルで過ごされています。何事にも

愛ちゃん と 希望くん



今年は、共同募金から助成を頂いています。

たすけあいの会

TEL 32-3535

お役に立てる間は自分の特技を活かして活動し、困った時には「助けて！」と利用者になる。こんな会が身边にあればと始めて丸4年。主婦の力、現役時代から定年後の設計として培われた特技、介護職の能力…を活用しています。「掃除や草引き」「調理」「食事介助や散歩援助」「大工仕事や修理」「庭木の剪定・消毒」「おしゃべりの相

手」「病人の見守り」「布団干し」「荷物の移動・片付け」「電球の付け替え」…なんでも屋です。利用者もふえており、喜んでいただいている。必要な時に単発的な利用も毎週定期的な利用も様々です。「そんなことならお役にたてる!」「余暇や特技を役立てたい!」「家計の足しに!」方はすぐに32-3535までお電話下さい。やつてみたら自分の隠れた力に気付くことも。

デイサービス あかねの里

TEL31-3536

デイサービスあかねの里では利用される方が、安心して、そして職員も一緒に楽しく過ごせるようにと思っております。

9月15日、16日、17日の三日間には、もうすっかり恒例となりました秋の喜楽会を今年も開催しました。お馴染みの犬養さんのマジックショーや、新舞踊、大正琴の演奏、日頃ボランティアとして助けていただいている先生のシャンソン、利用者さんの詩吟、喜楽会では初めてのお琴の演奏など盛り沢山で、おおいに盛り上りました。そして、お祭りの最後は、これも恒例となりましたデイ職員による花笠音頭で利用者さんも一緒に踊ってくださり笑いと拍手に包まれて無事終わることができました。ありがとうございました。これからはまた、木々の紅葉を満喫しにドライブなどを計画しております。車中でのみなさんの笑顔や歓声を職員自身が一番楽しみにしております。年末に向けていろいろと行事がありますが、利用者さんが笑顔で



過ごしていただけよう、今年一年も利用していただいている方々が「今日も楽しかったよ。」「また来るね。」という言葉を聞けるように職員一同がんばります。



サンサン福祉タクシー

TEL 32-3535

秋風が心地よく、斑鳩の里の果物屋さんの店先にはイチジクに続いて早くもカキが店頭に顔を並べています。外出には最適の季節になりました。



福祉タクシーは、事前の契約締結で、買物などにもご利用いただけるサービスです。10月1日から初乗り運賃を改定させて頂きました。

1. 5kmまで580円となっております。午前は予約が多いですが、午後は案外空いていることもありますので、外出の折にはせいぜいご利用いただきますようお願いいたします。

新人紹介コーナー



宮堂鉄也

皆さんのご指導のもと、鋭意研鑽に励み、福祉タクシーの運転ヘルパーとして、利用者さんの安全と安心を乗せて一所懸命がんばる所存ですので、よろしくお願ひいたします。

因みにO型、天秤座の45歳です。趣味は旅行ですが、最近は行けていません。バイク・ボート・ハンググライダー等、乗り物は大好きで～す。足は届きませんが・・・

高齢者の家「あかねの里」

TEL 31-3536

7月から、今までのヘルパーステーションに代わって、小規模多機能ホーム“萌の里”が支援することになり、また、管理人としての新しい顔も加わり、今までとは少し違った雰囲気での生活を送っておられます。T様は、デイをご利用されている。ご主人が昼食時に2Fに来られ、一緒に昼食を召し上がっておられます。ご主人の「お母さん、しっかり食べてるか?」の問いかけに、「うん」と頷かれるT様。ほのぼのとしたひと時です。9月にはデイの喜楽会や町の敬老会に参加されたり、日課になっている散歩に出かけられたり、これから季、2Fのリビングの大窓から見える信貴山の色づきや夕陽に秋を感じていただけると思いますが、やはり外出をして秋を肌で感じていただければと思っています。